

タカノ一産業株式会社



1 現在の活動状況等

- (1) 経営理念、目標**
- 【Quality(品質)】お客様の求めている品質を理解し、自信をもって商品を提供すること
 - 【Compliance(法令遵守)】国や自治体、社内で決められたルールを守ること
 - 【Thanks(感謝)】この地域での農業をさせて頂けることへの感謝、大地の恵みを受けて商売をさせて頂けることへの感謝、商品の流通・消費に関わる方々への感謝
- (2) 生産技術の特長**
- 【長ねぎ】
- 選別後に箱詰めしたねぎを0℃±0.5℃設定の氷温庫で貯蔵し、出荷している。氷温貯蔵のメリットとして
 - ① 皮剥き後でも出荷調製がしやすい。
 - ② ねぎにストレスをかけることで甘みが増し、冬季は凍結防止になる。
 - ③ 品質の劣化を抑える効果があり、夏季でも棚持ちの良いねぎを提供することができる。
 - 積雪前に太いねぎを育て、ハウスの中で困う「困いねぎ」は、葉が黄色くなるため販売先から敬遠されがちだったが、甘く美味しいことを時間をかけてPRした結果、現在は加工用と一般販売用に3月まで出荷し、好評である。
～このように1年を通して、販売先の求める品質・形態で出荷できる強みがある～
- 【稲作】
- 令和4年度から、水稲15haを自社経営とした。機械を導入整備し、飼料用米は、自社分とJAからの委託分について、籾すりから乾燥作業まで行っている。
 - 水稲のローテーションにねぎを組み込むことで、連作障害回避や残肥による肥料の削減ができる。

- (3) 販売面の特長**
- ねぎの出荷先は、9割以上がJAと仲卸業者である。
 - JAには加工用ねぎとして、支給されたコンテナで持ち込むため、手間がかからない。
 - 仲卸業者は、先方の営業訪問から取引が始まり、現在は、量の制限を設けずに引きとってもらっている。他県に存するこの仲卸業者から、大手スーパーに送られ、店頭に並ぶ。
 - 周辺農家からねぎの調製と箱詰め作業を受ける他、7ha分のねぎを仕入れ、自社のねぎと一緒に販売している。
- (4) 経営組織の特長**
- 周年で作業があるため、雇用の安定につながっている。
- (5) 労務管理の特長**
- 従業員4名(女性1, 男性3)は全員30歳台であり、いずれも知人からの紹介で雇用。
 - 就業規則は、社長自ら整備し、安心して働きやすい環境づくりに努めている。
 - 女性従業員の就労環境整備として、男女別のトイレと給湯設備のある手洗い場を設置している。
 - 夏季の熱中症対策として、スポットエアコンを導入しており、全ての従業員が快適に働けるよう、配慮している。
- (6) 経営管理の特長**
- 経理は、役員1名が担当しており、農業に詳しい税理士に顧問をお願いしている。
- (7) その他、特筆すべき事項**
- 投資を出口戦略につなげる会長の先読みの経営センス、そして、社長の高校在学中からのスキル習得や会社勤めの経験など、全てがうまく噛み合い、経営に好循環をもたらしている。

経営のプロフィール

- 経営概要**
- 長ねぎ(自作)7ha 長ねぎ(仕入れ)7ha
水稲(飼料用米, 主食用米)15ha
加工用野菜(キャベツ, はくさい)0.6ha
- 主な施設・機械の保有**
- ねぎ根葉切・皮むき機4台, ねぎ収穫機2台
氷温庫2機(7.5坪, 12坪)
防除用乗用管理機1台, 乗用管理機(ねぎ仕様)1台
田植機1台, コンバイン1台, 乾燥機3台
- 構成員等**
- 役員(取締役等):4名
従業員:常時雇用4名 パート10名
- 法人設立年月日**
- 平成27年2月27日(登記日)

- 認定農業者認定年月日**
- 令和2年3月18日
- 資本金**
- 300万円
- 販売額等**
- 販売額:1億800万円(直近の事業年度)
収入算入交付金等:1,180万円(経営所得安定対策等)
- 役員名**
- 代表取締役:高橋 範宇
取締役会長:高橋 秀喜
役員:高橋 つや子 高橋 祐子
- 補助事業、制度資金活用実績**
- ・みやぎの女性農業者ステップアップ応援事業
 - ・園芸特産重点強化整備事業
 - ・みやぎの水田農業改革支援事業
 - ・平成31年度大規模園芸経営体育成事業

2 法人設立までの変遷(取り組み経過等)

- (1) 法人設立までの動機、きっかけ**
- 補助事業で設備や機械の充実をはかり、周年で安定した雇用体制を作るため。
- (2) 法人化に至る経過等**
- 社長の範宇氏は工業高校卒業後、農業簿記や大型特殊免許を活かして家業を手伝いながら、会社勤めをしていた。しかし、兼業を続けることは難しいと判断し、法人設立の半年後に29歳で就農、令和5年1月代表取締役に就任した。
- (3) 法人化後の評価(良かった点等)**
- 取引先からの信頼が増したほか、補助事業を活用しやすい。
 - 法人格であることから、JAから飼料米の作業委託を受けることができた。

3 今後、将来に向けてのビジョン等(現時点)

- (1) 将来ビジョンと経営戦略等**
- 新規取引先の開拓、新たな作目の導入に積極的に取り組むことで、経営の安定に努めたい。
- (2) 達成へ向けた課題及び取り組み状況**
- 年間作業の平準化を図るために、冬作業としての加工用はくさいを取り入れたたり、春採りのキャベツ、6月のたまねぎなどを取り入れている。
 - 作業効率や品質向上につながる社内教育に取り組み、より安定した雇用体制を築きたい。

(調査 大崎農業改良普及センター)



タカノ一産業株式会社

〒981-4222
宮城県加美郡加美町下新田字一本柳24-1
TEL 0229-63-6566 FAX 0229-87-3260
Eメール takahashi.norihito@takanosangyo.co.jp

受入可 視察受入条件

視察目的を明確にしたうえで、普及センターを通じて御相談ください。
連絡先:大崎農業改良普及センター
先進技術第一班 TEL:0229-91-0726